

2026 年 2 月 19 日

各 位

あすか製薬株式会社
三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL みらいパートナーズ株式会社

あすか製薬と SMFL みらいパートナーズ、熱回収ヒートポンプエネルギーサービス契約を締結

あすか製薬株式会社（代表取締役社長：山口 惣大、以下「あすか製薬」）と、三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎）の戦略子会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL みらいパートナーズ」）は、あすか製薬いわき工場の第 1 製剤棟クリーンルームにおける、熱回収ヒートポンプ（以下「本設備」）のエネルギーサービス契約（以下「本契約」）を締結したことをお知らせします。

本契約は、SMFL みらいパートナーズが令和 6 年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業の申請を行い、同事業から補助金の交付を受け、本設備を購入し、あすか製薬のいわき工場（福島県いわき市）に導入するものです。あすか製薬は SMFL みらいパートナーズに対して、契約期間中の保守メンテナンス費用（運用監視、不具合時の駆け付け対応、各種整備等に係る費用）、保険料、固定資産税を含むエネルギーサービス料を支払うことで、初期投資や維持管理コストを必要とせず、本設備を導入し使用することが可能になります。また、本設備の導入により、クリーンルームにおける蒸気ボイラーの負荷低減、省エネルギーの実現および Scope1 の削減にも寄与します。本設備の導入による原油換算削減量は年間 224kL、CO₂削減量は年間 466 トンとなる見通しです。

■あすか製薬株式会社

あすか製薬は、2050 年カーボンニュートラルの実現を目指し、CO₂排出量を 2035 年度までに 2013 年度比で 60%削減する目標を掲げ、国内生産拠点であるいわき工場では、2030 年度までに 2013 年度比 60%削減を掲げています。これまでいわき工場では、太陽光発電や省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギーの活用など、環境経営を積極的に推進してまいりました。今回のヒートポンプ導入は、当社の脱炭素・省エネの取り組みをさらに加速させるものです。

本取り組みは、当社が掲げる「先端の創薬を通じて人々の健康と明日の医療に貢献する」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現と環境負荷低減に向けた重要な一歩です。今後も、医薬品メーカーとしての社会的責任を果たしながら、地域や社会と連携し、脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

■三井住友ファイナンス&リース（SMFL）グループ

SMFL グループは、再生可能エネルギーや省エネ機器の設備投資におけるさまざまなファイナンスサービスや、太陽光・バイオマス・水力などの再生可能エネルギー事業を通じた CO₂ フリー電力の供給、脱炭素に関する補助金支援サービスなどの事業を展開しています。また、4つのマテリアリティの1つに「環境」を掲げ、脱炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みに注力しています。今後も、エネルギーを多量に消費する工場・事業所を持つ企業の脱炭素経営を支援するさまざまなソリューションをワンストップで提供することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【あすか製薬いわき工場 第3製剤棟で稼働中のヒートポンプ】



以 上

【お問い合わせ先】

あすか製薬株式会社

経営企画部

TEL：03-5484-8366

E-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部

TEL：03-5219-6334

SMFL みらいパートナーズ株式会社

エネルギーサービス部

TEL：03-6695-8230